

やくわ卓球道場会員(全員)出席回数

2014年2月28日現在の出席回数状況と2月の大会及び練習を振り返って
2014年4月16日(水)

1 小学生以下					26.04.01現在				
番号	氏名	学年	出席回数	入会年月日	番号	氏名	学年	出席回数	入会年月日
1	菅沼 梨香	4年	620	24.3.10	10	安久津 瑞歩	4年	59	25.7.1
2	菅沼 翔太	2年	599	24.3.10	11	佐藤 釉	2年	39	25.6.18
3	青木 実々	5年	484	24.7.25	12	亀井 聡	2年		26.3.1
4	青木 もも	3年	426	24.7.25	13	大石 蓮	5年		26.4.1
5	佐藤 祥太	5年	270	24.4.11	14				
6	児玉 彩乃	5年	170	25.2.27	15				
7	長沼 暖香	5年	88	25.6.25	16				
8	佐原 羽春	3年	87	25.9.12	17				
9	安久津 賢太	6年	79	25.6.26	18				

2 中学生									
番号	氏名	学年	出席回数	入会年月日	番号	氏名	学年	出席回数	入会年月日
1	小倉 七海	中1	295	25.2.22	10	今野 友裕	中2	14	25.11.1
2	佐藤 貴哉	中3	270	24.4.10	11	井上 潤弥	中2	12	25.11.1
3	丸子 なごみ	中3	237	24.6.9	12				
4	川瀬 莉子	中3	92	25.7.10	13				
5	小阪 佳石	中3	85	25.7.10	14				
6	伊藤 洸叶	中2	62	25.4.30	15				
7	鈴木 亮太	中2	42	25.11.1	16				
8	関 もえか	中3	46	25.6.28	17				
9	関 ほのか	中2	40	25.6.28	18				

3 高校生									
番号	氏名	学年	出席回数	入会年月日	順位	氏名	学年	出席回数	入会年月日
1	遠藤 颯汰	高校3	484	23.6.28	4	遠藤 隼人	中3	191	25.3.1
2	鈴木安珠美	高校2	403	22.10.02	5				
3	山川 航平	高校2年	34	25.12.01	6				

4 ラージホール(一般)									
番号	氏名	出席回数	入会年月日	番号	氏名	出席回数	入会年月日		
1	佐藤 美智代	長井市	169	21.01.07	12	鈴木 まち子	長井市	88	24.09.12
2	高橋 直樹	長井市	392	21.03.03	13	我妻 泰子	米沢市	124	24.10.02
3	船田 富雄	山形市	367	21.04.07	14	後藤 喜美子	南陽市	93	24.11.01
4	横澤 泰子	長井市	385	21.07.02	15	別部 典子	長井市		26.03.01
5	金田 正子	白鷹町	314	22.03.18	16				
6	宇津木 辰美	長井市	136	22.07.03	17				
7	小関 利子	長井市	222	23.10.12	18				
8	渡部 良子	長井市	163	23.11.14	19				
9	伊藤 くに子	長井市	156	23.11.14	20				
10	高橋 節子	長井市	187	24.04.03	21				
11	松田 正子	川西町	84	24.08.01	22				

3月の春休み期間、正月休みと同様、菅沼姉弟、青木姉妹、小倉七海さん、丸子なごみさん(南陽市)の6人は、午後4時から9時まで夕食を持参して頑張った。この6人に刺激されて、児玉彩乃さん、長沼暖香さん(飯豊町)、佐原羽春君、安久津隼人(南陽市)の小学生も夕食を持参して夕方・夜の練習に参加して頑張った。高校生の遠藤兄弟も3月は夜7時30分ごろから11時ごろまで22日間もがんばった。
しかし、他の中学生は、風邪をひいたりしたこともあり、この貴重な休み期間、普段よりも練習量が少なかったことは誠に残念だった。中体連まで残り2か月しかないの、かなり厳しい状況である。いかに日頃、目標を高く持って、体調管理をしっかりやるということが重要であることを改めて感じさせられる。

3月29日(土)片野賢二先生と馬場雅行先生の講習会を道場で実施した。小学生の体の軸、バランス、リズム感、反応等、みんなとても素晴らしいと褒められた。日ごろ、生き生き、伸び伸び卓球を楽しんでいるそのものが2人の先生伝わったのだと思う。

3月30日(日)、南陽市民体育館で1300人が参加した卓球王国杯が開催された。
前日、中学生のカadetに参加した小倉七海さんは第2シードだったが、5回戦で双葉クラブの小島藍さん(小6年)に1-3で敗れた。以前も5月のホープス県大会の代表決定戦で苦戦しているだけに対応が甘かったと思われる。勝ったか負けたかではなく、どんな試合内容で次回はどう対応すべきかという点をしっかりとまとめて、忘れないことが重要だと思う。特に苦戦した試合については、考える力は1つ1つの積み重ねなので、全国大会で上位を目指すなら、ベンチアドバイスがなくとも、それまでのアドバイスを自分のものにして、自分の力で克服してゆくべきである。

小学生の部では、菅沼翔太君が準々決勝で第1シードの福島県富久山クラブの続橋君に2-3の接戦で敗れたが、最後まで積極的に攻められるようになれば今後は楽しみ。
菅沼隼人さんは酒田県スボ少の菅原麻莉さんを破り、昨年6月あやめ杯で大敗した福島県富久山クラブの深谷和花さん(カウマン)に1-3の大接戦で敗れたが、急成長している試合内容だった。
長沼暖香さんも予選1位通過し決勝トーナメント1回戦でバックハンドサーブからの攻撃が決まり大接戦で敗れたものの素晴らしい試合内容だった。
青木ももちゃんも予選1位で決勝トーナメント1回戦を勝ち上がり第1シードの福島県富久山クラブの深谷和花さん(カウマン)に敗れてベスト8に入った。姉の実々さんは6年以下の部に出場し、城北スボ少の齋藤夏鈴さんに力負けしたが、大きく伸びている。

4月12日~13日の茨城県東海近郊交流大会に参加した。関東周辺から参加するレベルの高い大会。小倉七海さん、青木姉妹、児玉彩乃さん、長沼暖香さん、川崎美穂さん(米沢1中)の団体メンバーで予選2位となり、みんな力以上のものを発揮できた。個人戦も十分力を出し切った。